

令和4年度

健康管理者講習会開催

まだ暑さが残る9月14日、「令和4年度健康管理者講習会」を、保健センター4階大会議室で開催しました。令和元年度以来、3年ぶりの開催となった今回は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、規模を縮小して行いました。



DATA

日時 令和4年9月14日(水) 15時

会場 保健センター 4F 大会議室

出席 17事業所 26名



巖常務理事

健康管理事業推進委員長でもある巖常務理事は、講習会の開会挨拶の中で、新型コロナウイルスの感染状況により、本来講習会とあわせて実施予定だった講演会をキャンセルせざるを得なかった点、規模を縮小しながらも3年ぶりの開催となるため、有意義な講習会にしていきたい点を述べました。

令和3年度健康管理事業実施報告では、当健保組合健康管理室の木下主任看護師と医師の大館先生が利用状況(令和3年4月～令和4年3月)やポイントを解説しました。

1 健診状況

被保険者の健診受診率は89.2%。健診受診率は年々上昇し90%も視野に入る望ましい結果となりました。このまま受診率100%を目指していきたいので、若年層の方や、他の健診機関で健診を受診した方は、受診後忘れずに健診結果を提出いただくよう、ご協力よろしくお願いいたします。

2 健康管理室利用状況

令和3年度の利用者数はのべ10,109名で、大腸がんが2名発見されました。現状、およそ3分の1の対象者が精密検査を受けておらず、こうした疾患の早期発見のためにも、各事業所で対象者に精密検査を受診いただくよう、周知をお願いします。

3 その他

人間ドックの補助やインフルエンザ予防接種は令和3年度も実施。

今後、保健センター内のネット環境を整備し、事業所巡回健康相談(特定保健指導も同時に実施する)のリモート面談を充実させていきたいと考えています。



木下主任看護師



大館先生



徳重保健師

2021年度健康スコアリングレポート(2020年度実績分)や特定保健指導について、徳重保健師から説明がありました。傾向としては、全体の特定健診・特定保健指導の受診率は上がっているものの、被扶養者の受診率が依然低く、国の目標実施率に届いていないとのことでした。被扶養者の受診率向上が急務です。

今後の方針として、データヘルス計画に基づき、特定健診・特定保健指導実施率の向上、オンライン卒煙プログラム、糖尿病の重症化予防、歯科検診・がん検診の実施など、保健事業を強化してまいります。